

独立・非同盟・平和・民主・公正の国際秩序を目指す岐阜県の会機関誌

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ 岐阜県地方版

発行日 2008年6月3日発行 第25号

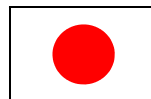
発行所 〒504-0825 岐阜県各務原市蘇原柿沢町2-47 岐阜県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

韓国歴史と平和と友好の旅 報告特集 濟州道の後編

高橋信さんと行く「3・20韓国歴史と平和と友好の旅4日間」の連載も3回目となりました。今回は最終回です。前回に引き続き、濟州島での名古屋三菱女子勤労挺身隊訴訟支援会の方たちに案内していただいて、濟州島の戦跡や博物館を巡りました。



平和博物館



3月22日(土)、8時にホテルを出発した私たちは、レストランで濟州島の郷土料理の朝食をいただきました。ここで、訪問の印にAALAの団体旗に寄せ書きをして平和博物館へ寄贈することとなり、思い思いの言葉を連ねて、高橋さんを含む全員がメッセージと氏名を書き込みました。同行していた、大韓老人会の梁さんもハングルでメッセージを書き込んでくれました。



連帯旗を受け取る李館長(右)

本日最初の訪問地の平和博物館では、昨日の交流会で一緒だった李館長みずからが私たちを迎えてくれました。まず最初に案内されたのは大きなホールでした。ここで、みなから集めたカンパと一緒に、寄せ書きをした団旗を李館長に渡しました。ホールでは映画を見ました。映画は、李さんが幼いころ日本軍の兵士に衣類や食料を渡したりしている両親に、「私たちをひどい目にあわしている日本人になぜ親切にするのか」と問うと、父親が「戦争では兵士も私たちと同じ犠牲者なのだ。彼等は命令に従っているだけで、それを命じているのは権力者や司令官だ。」と教えてくれたそうです。この映画も、その

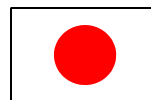
父親の言葉がメッセージとして流れ、戦争の悲惨さとあわせて、兵士も戦争の犠牲者であることを見る人に訴える感動的なものでした。この映画のDVDを稲垣団長がみやげにいただき、小林さんがDVDに複写して、帰国後の写真交換会で参加者全員に配ってくれました。来る6月22日の総会で、DVDの上映をしたいと思います。

映画の後には、裏山の日本軍地下要塞跡の洞窟を見学しました。平和博物館のある釜岳(カマオルム)の洞窟は司令部のあったところで、かなり大規模な壕でした。同様の洞窟は島のあちこちに残っているそうです。強制労働に従事する島民や作戦を立てる日本軍司令官がロウ人

形で再現され展示してありました。岐阜県の瑞浪や各務原市にも同様の洞窟はありますが、戦争遺跡としてきちんと保存展示されていません。これらの戦争遺跡を、後世の人々が二度と戦争の被害に遭わないように平和教育の場として利用している点で、濟州島の人々は岐阜県より進歩的だと感じました。博物館の中には、日本軍が使用した武器や資料が歴史の証拠物として展示してありました。



モスルポ航空機格納庫



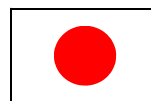
モスルポ飛行場管制塔跡にて

次に私たちが案内されたのは、畑の中にある掩体壕と飛行場跡地です。岐阜県の各務原市にもいくつかの掩体壕はありますが、管制塔に使われていたというコンクリートの見張り台が残されていて戦時中をリアルにイメージできる感じがしました。帰ってきてから調べてみると、濟州島には、戦時中モスルポの他にアルトル（以上海軍）、チントル、チョントル（以上陸軍）、橋来里（秘密基地）と5つの飛行場があったとのことで、島全体が巨大な要塞となっていたようです。いずれも、たくさんの朝鮮人の強制労働によりつくられたとのことで、強制労働の後には、多くの島民が日本軍に虐殺されたという証言も残されているそうです。

これらの掩体壕は、現在農具などが保管されていたが、戦跡として保存していく計画だそうです。



松嶽山海洋発信基地



こちらは、海の特攻隊基地で、海食洞のような洞窟がくつも掘られていて、日本軍は当初、人間魚雷回天の基地にする予定であったが、計画を変更し、モーターボートに爆弾を積んで、運転手ごと敵上陸艇めがけてつっこんでいく、海洋という特攻兵器の基地だったようだ。特攻兵器を見るたびに9・11テロ事件を思い出すのは僕だけだろうか。人間はいつまでこの愚かな行為を続けるのだろうか。今でも、イラクでは、アメリカ軍の市民を巻き込んだ殺戮と爆弾テロによる報復の連鎖が続いている。



松嶽山瀋陽発信基地跡

入り口付近の案内板には、回天の写真が出ていて、誤解を招くとの高橋さんの指摘がありました。一同、韓国歴史ドラマ「チャングム」のロケ地として使用された洞窟の中で記念写真を撮影しました。

見学の後は、海鮮鍋の昼食で、魚介類のどっさり入った豪華な鍋に、一同大満足でした。



善徳寺と済州博物館



善徳寺にて住職と対話

近くの有名なお寺で記念撮影をした後、案内されたのが、善徳寺という山寺です。許さんが大変お世話になったというお寺で、一同お参りをして、心を落ち着かせ、住職と対話しました。日本では、宗派のちがいを超えて、九条を守ろうという宗教者九条の会がつくられていることを紹介し、クマツブ（運動の中心になっているメンバーの1人が、岐阜県の宗教者）のCDを土産に渡しました。あわただしい旅だけに、心休まるいい山寺でした。

このあと、あわただしく済州博物館で、簡単に済州島の歴史を学び、ホテルへ戻りました。その日の夕食は、今回の旅行唯一の自由行動時間で、それぞれの予定で動きました。

翌日は、張さんが、この手の旅行では珍しい地元の大型スーパーにて食料品のショッピングに連れて行ってくれました。地下の食料品売り場にはレジがなく、カートごと1階へ移動するめずらしいスタイルで、日本よりも省力化が進んでいて、地元の商店や労働者は、大変な世になりそうで、その点は日本と同じ社会問題を感じました。その後は土産物店にも立ち寄り、さらに、目の錯覚で、エンジンをかけないのに車が坂を上っていくめずらしい場所に案内してくれました。済州空港に向かい、長い4日間に及ぶ韓国歴史と平和と友好の旅が終わり、私たちは帰国の途につきました。



済州空港にてお別れの集合写真

高橋さん、私たちを歓迎してくれた韓国のみなさんほんとうにありがとうございました。参加者のみなさんお疲れ様でした。（文：事務局 写真：小林宏子さん）

岐阜県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 2008年度 総 会

予定してました日は、準備が都合で中止となり、下記のとおり3日間(日)に行います。今後の活動など、あなたも参加できる楽しい連帯活動をするため、多数ご来場下さい。

学習会：国安理事長が中心となって朝鮮通信使の学習会をします
上映会：済州平和博物館制作のDVDを上映します

とき：6月22日(日) 14:00 - 夕食懇親会 17:00 -

ところ：各務原市産業文化センター2階第4会議室

会費：無料 懇親会は実費

市民運動公園の駐車場
も無料(2階階下まで)
ご使用下さい。

懇親会も、要前の方は、
簡単な献立でもお楽しみ
下さい。

各務原駅前バス停留所
徒歩約5分

